

―建設コンサルタントとして、社会資本の整備に尽力されています。

道路や橋、河川、上下水道など、人々の生活に欠かせないあらゆるインフラに関わっています。計画段階での事業評価や費用の算出、設計、予定通り施工できているかの管理などが主な役割。長寿命化や改修方法を提言することもあります。高度経済成長期から環境負荷の軽減や防災に携わっており、グループの強みとなっています。岡山県内でも岡山桃太郎空港をはじめ、多くのインフラ整備に従事。現在は、能登半島地震の復興に向けた調査・設計



E・Jホールディングス株式会社



代表取締役社長 **小谷 裕司** 氏

にも取り組んでいます。

―業況はいかがでしょう。

当社の強みを生かせる国土強靱化に
関係する受注が増え、業績は堅調に推
移。売上高500億円の目標は、3年

はじめ全国各地で道路陥没が起きてお
り、老朽インフラへの対策は急務。グ
ループ全体で高度かつ多様な提案がで
きる態勢をさらに整えていきます。

―中期経営計画では、新領域の開拓

る新興企業のDX通信(東京)と資本
提携。同社の通信技術と当社の防災、
自治体支援のノウハウを掛け合わせ、
主に小規模自治体に対し高速通信網の
整備を提案していく方針です。基地局

―今後の展望をお聞かせください。
自治体、特に小規模な町村では技術
者不足が深刻で、インフラの維持が大
きな課題。今後、複数の自治体を対象
とした包括的な修繕計画の立案を求め
られることが増えるとみています。施
工業者や各地のコンサルタントとの連
携を強化し、マネジメント力を高めて
いく考えです。海外事業は、紛争や政
情不安といったリスクもありますが、
現地法人との資本提携によりインフラ
整備や災害復旧に貢献していきます。

先端技術を駆使し新領域開拓

前倒しの2028年5月期に達成でき
る見通しです。また、24年には大都市
圏で高層建築の地盤調査を多く手がけ
る東京ソイルリサーチ(東京)がグル
ープに加わりました。埼玉県八潮市を

を掲げられています。

IoT(モノのインターネット)や
AI解析などの先端技術を駆使し、事
業領域を広げます。その一環として、
昨年10月に広域通信サービスを提供す

を張り巡らせることで、河川の水位上
昇や避難指示などの情報伝達、クマの
個体解析による出没情報の提供などが
可能になります。他にも、老朽化した
マンホールの点検システムなどのニ



E・Jホールディングス(株)

会社概要



所在地	〒700-0087 岡山市北区津島京町3-1-21
電話番号	086-252-7670
事業内容	グループ全体の最適化を図るための企画運営・管理等を行い、傘下各社の業務執行を管理・統括し、グループ全体の経営を統括する
設立	2007年
資本金	43億7200万円
売上高	427億500万円(2025年5月期、連結)
役員	11人
従業員数	2061人(連結)
関連会社・グループ	(株)エイト日本技術開発、日本インフラマネジメント(株)ほか